

「平成23年度協会インターンシップの実施について」

1. 協会インターンシップの概要

(1) 協会インターンシップの目的

当協会のインターンシップは、協会及び会員会社が連携して情報通信エンジニアリングに係る実務の体系的な体験を通じ、

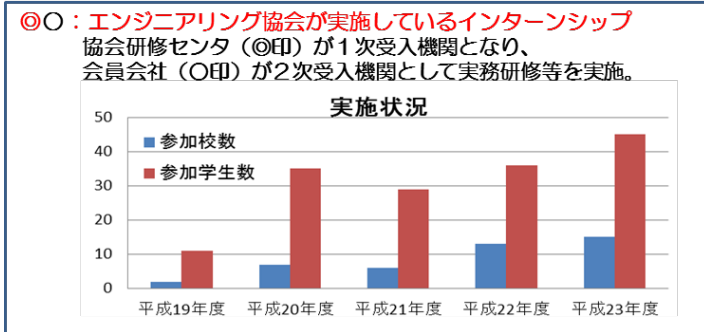
- ① 学生の職業意識の啓発、キャリア形成の支援
 - ② 情報通信業界及び協会の社会的な認知度向上
 - ③ 計画的な情報通信施工技術者の確保
- を目的としています。

(2) 協会インターンシップの実施形態

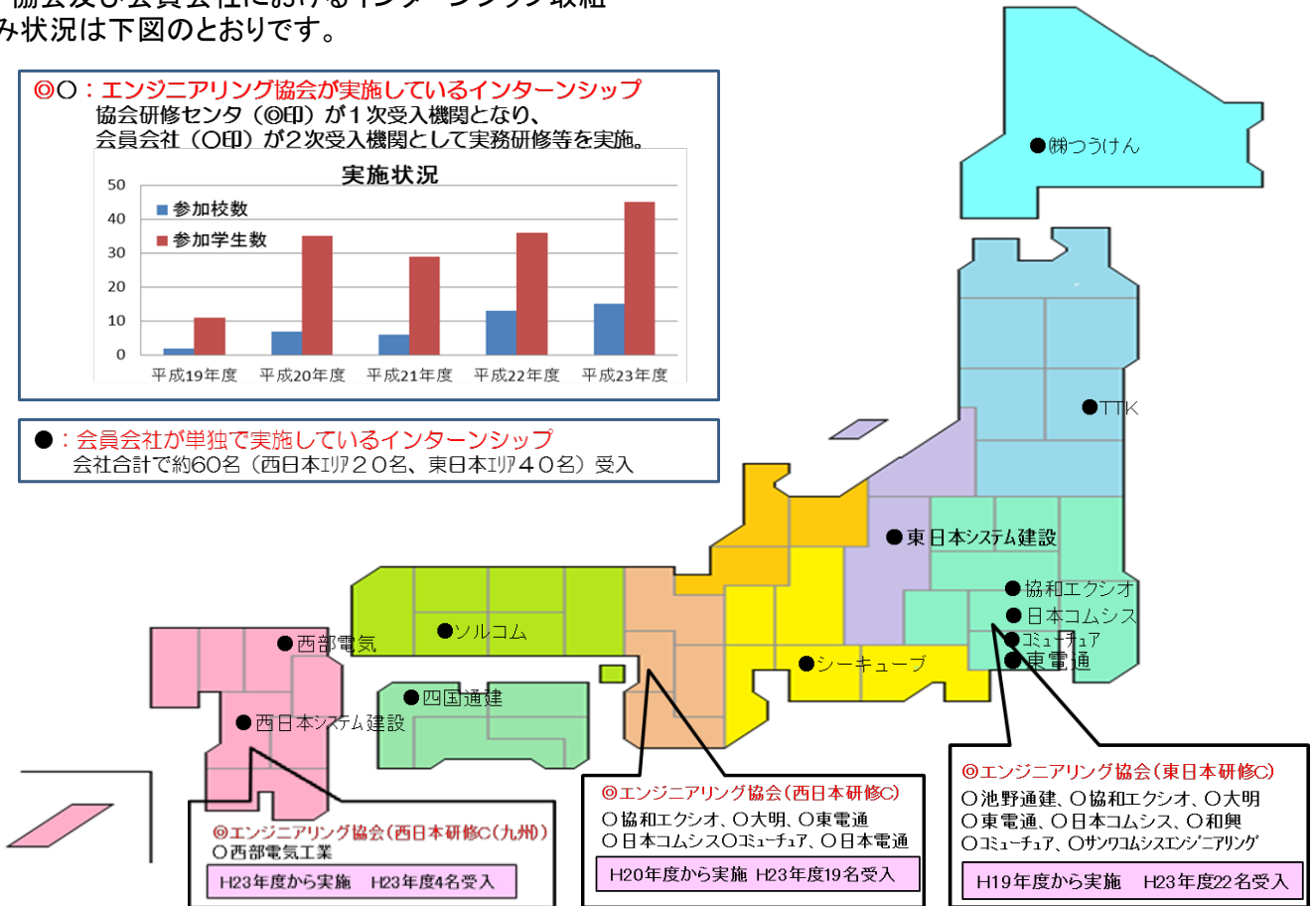
インターンシップの実施形態は、公益社団法人等の営利を目的としない団体の責任および監理の下で行い傘下の企業において実務研修及び技能研修を実施する「団体監理型」、企業の責任および監理のもとで実施する「企業単独型」があり、協会インターンシップは「団体監理型」となります。また、地域との繋がりにより「企業単独型」で実施している会員会社もあり、業界としてはほぼ全国的にインターンシップに取り組んでいます。

(3) インターンシップ取組み状況

協会及び会員会社におけるインターンシップ取組み状況は下図のとおりです。



●：会員会社が単独で実施しているインターンシップ
会社合計で約60名(西日本17名、東日本43名)受入



2. 平成23年度協会インターンシップ実施結果

学校の夏休み期間を利用して東日本研修センター、西日本研修センター、西日本研修センター(九州ロケーション)及び会員各社の連携により実施した平成23年度協会インターンシップの実施状況を紹介します。

(1) 実施概要

協会の研修センターで情報通信に関する技術、設備やサービスの動向、安全作業の基本動作など会員会社での実務実習に必要な基礎的な知識を習得した後、会員会社の職場で実務体験や業務実施模様の見学を通じて、仕事や会社について理解を深めていただきました。

(2) 研修期間と参加状況

①-1 東日本研修センター

期間:8月22日(月)~8月26日(金)

①-2 関東エリア会員会社

期間:8月29日(月)~9月2日(金)

学校名	人数	受入れ会社・受入れ人数
A大学校	5名	
B大学校	6名	
C大学校	3名	池野通建(株) 3名
D大学	1名	(株)協和エクシオ 3名
E大学	2名	日本コムシス(株) 4名
F大学	3名	大明(株) 3名
E大学	2名	(株)東電通 3名
		和興エンジニアリング(株) 2名
		(株)コミュニチュア 2名
		サンワコムシスエンジニアリング(株) 2名
合計 7校	22名	8社

(注)学校名、会社名は順不同

②-1 西日本研修センター

期間:8月22日(月)~8月24日(水)

②-2 近畿エリア会員会社

期間:8月25日(木)~8月26日(金)

学校名	人数	受入れ会社・受入れ人数
G大学	3名	
H大学	4名	(株)協和エクシオ 3名
I 高等専門学校	3名	日本コムシス(株) 3名
J高等専門学校	1名	大明(株) 3名
K高等専門学校	2名	(株)東電通 3名
L大学校	3名	(株)コミュニチュア 4名
M短期大学校	3名	日本電通(株) 3名
合計 7校	19名	6社

(注)学校名、会社名は順不同

③-1 西日本研修センター(九州ロケーション)

期間:8月1日(月)~8月3日(水)

③-2 九州エリア会員会社

期間:8月4日(木)~8月5日(金)

学校名	人数	受入れ会社・受入れ人数
N高等専門学校	4名	西部電気工業(株) 4名
合計 1校	4名	1社

(3) 研修内容

協会研修センターでの研修内容	会員会社での研修内容
アクセス設備、IPネットワーク、基盤設備、通信用電力装置等通信用設備の概要を理解する。 光ファイバ接続体験、ルータ設定実習等により工事概要を理解する。 危険体感訓練模様の見学により安全意識を醸成する。 など	安全研修を通じて安全作業の重要性を再認識する。 システムを利用した線路設計業務体験を通じて設計の重要性を理解する。 線路・宅内・土木等施工現場の見学により、施工品質及び安全に配慮した施工状況を理解する。 など

(4) 研修の様子

① 研修センターでの集合研修模様



開講式〔東日本研修センター〕



宅内配線実習〔東日本研修センター〕



NW系設備の講義模様〔九州研修センター〕



ルータ設定実習〔東日本研修センター〕



アクセス系設備の講義模様〔西日本研修センター〕



光ケーブル接続の実習模様〔西日本研修センター〕

② 会員会社での実務研修模様



マンションでの開通業務体験



マンホール内工事の見学



ビル建築現場での調査業務体験



電柱番号札の作成実習



高所作業車での模擬実習



システムによる設計業務体験

(5) 実施結果まとめ

参加学生からは、「実務研修前に研修センターで実習を含め基礎知識を勉強したので、企業における実務研修の理解度が増した。」「学校の授業では勉強できない情報通信に関する勉強ができた。」「インターンシップ研修を通じて情報通信に関する関心が高まり、自分の将来設計に役立った。」「この業界への就職を希望したい。」などの意見がありました。また、学校からも、「学生の高い職業意識を養うことができた。」「学内で学ぶことのできない貴重な体験ができた。」との言葉を頂きました。

受入会社からは、「この業界の社会的重要性や働き甲斐等を理解してもらえた。」「会社の実務を通じて、情報通信業界を知ってもらうのに役立った。」「将来の就職先として意欲を示す学生もいた。」などの感想を頂き、学生・学校及び業界にとって有意義な研修となりました。

3. おわりに

本年度も有意義な協会インターンシップとなりました。通信建設業界に関心がある学生を派遣して頂いた学校の先生及び関係職員の皆様、また、学生さんが理解しやすいように実務体験を指導していただいた協会会員会社の関係の皆様方に心より感謝申し上げます。

今後も、協会インターンシップを更に充実していく所存ですので、引き続き関係の皆様方のご理解・ご協力・ご支援を頂けますよう、よろしくお願い申し上げます。